きよさと組合だより

JA 清里町

No.349

コンバイン出動!!

2018年 9 平成30年

もくじ

麦作シーズン到来……2
農作業安全研修会……4
きよさと農業塾……4
ＪＡカレッジ実習生……5
でん粉工場操業安全祈願祭……5
３ＪＡ種子小麦播種前講習会……6
ＪＡバンク食農教育応援事業……6
清里町のうきょう年金友の会ゲートボール大会……7
はたの農場……7
平成30年度ＪＡ清里町女性部視察研修……8
平成30年度ＪＡ清里町フレッシュミズ部
　視察研修……9
平成30年度ＪＡ清里町フレッシュミズ部
　夏期学習会及びスポーツ交流会……10
くるるの杜で対面販売……10
ふるさと産業まつりに参加……11
給油所店頭キャンペーン……12
清里やきそば 新登場……12
第29回ＪＡ北海道大会組織検討案（意見集約案）
　の概要について……13
理事会の経過をお知らせ致します……14
組合員状況……14
新規採用職員紹介……14
ＪＡグループ通信……15

麦作シーズン到来

8月3日より小麦刈取り始動

春小麦の刈取り

操業安全祈願祭・入魂式

平成30年度の小麦刈取を前に、7月24日午前9時から神威麦作工場において操業安全祈願祭と、今年導入したニューホランドCX8.70SLと、レキシオンクローラ4WD 670TTのコンバイン2台の入魂式が行われました。

麦作操業安全祈願祭

コンバイン入魂式

小麦収穫前交通安全講話

7月25日には斜里警察署を講師にお呼びして小麦収穫前交通安全講話を実施、開会にあたり三上専務より「小麦刈取期間中はコンバイン等での作業や大型機械での公道通行の機会が増えるので、より一層の安全確認をしつつ作業してほしい」と呼びかけられました。講話では全道の交通事故概要・農耕作業自動車の交通事故防止等についてお話し頂きました。講話後には神威麦作センターにて各集団へコンバインが引き渡されました。

コンバイン引渡し

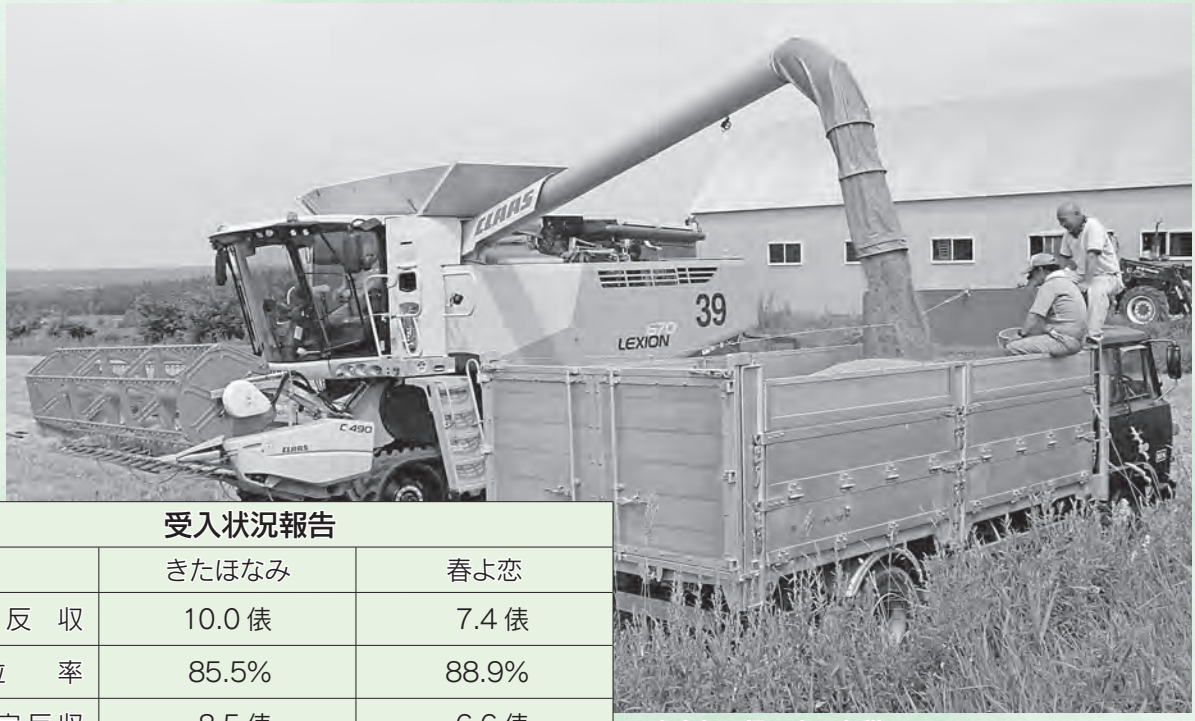
受入期間

麦作工場は8月3日より工場が稼働し、秋小麦・春小麦で合わせて19日間の日程で受入が行われました。本年度の整粒率は、「きたほなみ」では昨年を下回りましたが、「春よ恋」では昨年を上回る整粒率となりました。現在最大限の製品確保に努めるため、米麦改良協会、ホクレンとの連携を密にしながら慎重に調製作業を進めているところです。

続々と搬入

ポッパーに降ろされる麦

自主検による査定



不安定な天候の中で収穫

受入状況報告		
	きたほなみ	春よ恋
乾麦反収	10.0俵	7.4俵
整粒率	85.5%	88.9%
製品推定反収	8.5俵	6.6俵
受入期間	8月3日～8月13日（内7日）	8月13日～21日（内5日）
種子麦乾麦反収（清里分）	11.4俵	8.0俵

農作業安全研修会

安全第一の意識啓発

7月19日、夏季懇談会終了後に農作業安全研修会が開催されました。

研修会では、ホクレン農機燃料自動車部農業機械課職員を講師に、農作業事故の発生状況や防止策についての説明がされました。

対応対処についても丁寧な解説がされ、今後の農作業に活きる、研修会となりました。

＊1人作業の場合には発見者・救助者なしの事故が多くあります。作業前には家族・仲間に圃場と帰宅時間を伝えるよう心がけ、農作業事故の対策を！

きよさと農業塾

第7期生　実習を交えて小麦・馬鈴しょについて学ぶ

歩留りと千粒重の計測

7月5日、普及センターを講師にお招きして、きよさと農業塾生に向けた小麦と馬鈴しょについての講義が実施されました。当日は雨天のため圃場実習は無く、室内での座学と小麦の粒数計測や収量構成要素調査を行いました。小麦の粒数計測では乳熟期の小麦の穂から一粒ずつ子実を取り出し、粒の状態を観察したり千粒重の測定をしたりしました。また、馬鈴しょについては町内の圃場状況の説明や生育を揃えるための指導等がなされ、塾生たちは真剣な面持ちで受講しておりました。

JAカレッジ実習生

8月16日～9月1日の日程で、JAカレッジ本科生の実習生1名を受け入れました。

実習では、各課で業務内容の説明を受け業務に携わり、業務課では資材配達、または農畜産課では収量調査等の実習を行いました。短い期間ではありましたが、充実した実習が行えた様子で無事に終了致しました。

氏　名　**山本　一斗**
出身地　**網走市**

感　想　2週間で全ての部署を回り、職場の雰囲気もとても良く、色々な経験をさせてもらい、とても勉強になりました。

その中でも、農畜産課の種子馬鈴しょの収量調査等で実際に畑での作業を体験し、農業の大変さを身体で感じられた事が印象に残りました。

でん粉工場操業安全祈願祭

無事故で安全な操業を願って

平成30年度のでん粉工場操業安全祈願祭が9月2日に執り行われました。今年の原料受入は9月4日より開始、途中9月6日の地震の影響による停電にも遭いましたが、現在着々と収穫作業と工場操業が行われています。

３ＪＡ種子小麦播種前講習会

高品質小麦の安定生産に向けて

９月５日、ＪＡ清里町２階会議室にて３ＪＡ種子小麦播種前講習会を改良普及センター相馬主査を講師にお招きして開催しました。

今回の講習では、今年度の気象による、根浮き・遅れ穂・赤かび病・葉枯れ症対策や平成31年産の播種にあたっての注意、コムギなまぐさ黒穂病についてご指導を頂きました。今年度は小雪暖冬多雨により、越冬後の生育不良や防除の難航につながったとの説明がされた他、オホーツク管内において廃耕数は斜里郡３町が特に多かったとの報告や、例年にないほどの赤かび病多発についての説明もなされました。

質疑には、種子麦における穂発芽抑制剤についての質問がなされました。

なまぐさ黒穂病感染麦のアクリル標本

ＪＡバンク食農教育応援事業

教材本を小学校へ贈呈

７月11～12日に清里・光岳小学校の５年生計34名にＪＡバンク食農教育応援事業として、ＪＡ清里町三上専務より教材本を贈呈しました。

ＪＡバンクでは平成20年度から、全国の子どもたちに向けて食農教育等の取組みを実践する「ＪＡバンク食農教育応援事業」を展開しております。

この事業の一環として、子どもたちが食・環境と農業への理解を深めるきっかけとなることを願い、補助教材「農業とわたしたちのくらし」を制作し、全国のＪＡバンクから小学校へ贈呈致しました。

学校からは「この教材本を活用し子どもたちに食と農業の大切さを学んでもらいたい」と喜ばれました。

清里町のうきょう年金友の会

ゲートボール大会

8月22日、清里町のうきょう年金友の会（石川頼明会長）は清里30年度第1弾夏季レクレーション「ゲートボール大会」を開催しました。

参加者21名で4チームのトーナメント方式で競技を行いました。

参加者からは、「普段、ゲートボールはやらないけど、皆に会えるから楽しみにしていた。」と各チームの主将からルールを教えてもらいながら、楽しんで競技を行っていました。

心地良い汗を流した後は、緑清荘にて懇親会が賑やかに催されました。

開会式

●結果は次のとおりでした。

優　勝　平岡チーム
準優勝　長尾チーム
3　位　中西チーム
4　位　市川チーム

はたの農場【波多野　実さん】

『今ある施設を有効活用して事業を展開することに意味がある』

はたの農場では、花と野菜の直売を行っています。約100坪の栽培ハウス3棟のうち、トマトと花が各1棟ずつ、あとの1棟にはトマト・花の他にナスやピーマン等が栽培・販売されています。

敷地内からは斜里岳を望むことができ、景観整備は最低限の範囲で進められています。代表の波多野さんは、景観をできる限りありのままで見せたいという思いが強いそうで、「ここに立ち寄って斜里岳を見て欲しい」と話されました。また、「個人でやっている事業だからこそおまけをしたりといった〝応用〟が利く。応用が利くことでお客さんに喜んでもらえるし、満足してもらえると思う。お客さんの満足を満たせることを大事にして、消費者のニーズに合ったものを提供できるように考えながら経営していきたい。」と、事業への思いを語られました。

使用している肥料はJAで取り扱っているものの他、自家で作った有機肥料も使用。今後、大豆やでん粉の粕、ビートパルプといった副産物を使った有機肥料ができないかと考えており、『ご当地有機肥料』を上手に活用していきたいと語られました。

平成30年度ＪＡ清里町女性部視察研修

３日間の研修で贅沢なひと時を堪能

7月3日～5日にＪＡ清里町女性部（菅原みき部長）は東京方面で視察研修を実施しました。

（参加者　部員　46名　事務局　1名）

＊花王ミュージアム すみだ事業場

花王の歴史ゾーン・コミュニケーションプラザ・清浄文化史ゾーンの3つのテーマの空間に分けられている館内を3グループに分かれて説明して頂きました。歴史ゾーンでは昔の花王の商品や洗濯機などが展示しており、部員の中には懐かしさを感じている方もいました。コミュニケーションプラザではタブレットで写真を撮り、自動で化粧をした画像が出てきたり、髪の毛の細さ、肌チェックなどをしてそれぞれ楽しみました。

＊スカイツリー

展望デッキから眺める景色はとても綺麗だった。厚さ12㎜の強力ガラスを4枚重ねたガラス床の上から真下に広がる眺めは「迫力がある」と好評でした。

＊築地場外市場

たくさんの店が立ち並んでおり、見に来ている客は外国人の観光客が多く、活気に満ち溢れていました。

初日の夕食はディナークルーズで、なかなか体験できない贅沢な夕食を満喫。綺麗な夜景を見ながらの食事を楽しみ、デッキに出て風にあたりながら夜景に見とれました。

それぞれが三日間、普段は出来ないような体験をして有意義に過ごし、交流を深めました。

平成30年度ＪＡ清里町フレッシュミズ部視察研修

チョウザメ指パク体験に興奮

６月15日にＪＡ清里町フレッシュミズ部（岡本知子部長）は中標津方面で視察研修を実施しました。（参加者　部員24名　事務局１名）

・標津サーモン科学館

大水槽は科学館のメイン水槽の一つで、容量１１０㎘の海水の大型水槽です。ここには世界中のサケ科魚類ばかりではなく、ホッケなどの根室海峡に生育する魚も展示されていました。

色々な魚を見たりドクターフィッシュやチョウザメ指パク体験が楽しかったと部員に好評でした。チョウザメたちは指を餌だと思い、食いついてきますが、歯がないので全く痛くはありませんでした。

・想いの茸　㈱日翔（中標津）

平成23年にパックセンターを新設しパックから梱包までを一貫して行っており、平成24年には菌床センターも新設し、自社での菌床製造を行っているとの説明を受けました。昨年度の生産量は約３１０ｔとなっており、現在、20棟の栽培ハウスで一日約８００kgを生産しているそうです。見学終了後には椎茸を購入する部員さんもおり、「肉厚でとても美味しい」と好評でした。

普段できないような体験や生産の現場についての意見を交わし、他支部との交流を深められた研修となりました。

平成30年度ＪＡ清里町フレッシュミズ部夏期学習会及びスポーツ交流会

おいしいフレッシュジュースを癒しの空間で堪能

７月19日にＪＡ清里町フレッシュミズ部（岡本知子部長）は夏期学習会及びスポーツ交流会を行い部員34名が参加しました。

学習会では『ベリーの森工房』を見学、果樹園は夫の孝一さんが担当、カフェと野菜畑は奥さんのさち子さんが担当して切り盛りしています。村上夫妻が果樹園をやろうと思ったきっかけは長沼の果樹園を見てやりやすそうだと知った事とブルーベリーにはまったからだそうで、奥さんの実家の土地が清里にあったこともあり、始めるに至ったとのことでした。

「大変なこともあるが、好きだからできるし、その分楽しい事がいっぱいある。果樹をやっていて、とても楽しい。なかでも出会いが一番楽しい。夫婦二人で少しでも憩いの空間が作れるといいなと思う。」と、果樹園を夫婦でやりがいを持ってやっている話をして頂きました。敷地内にある野菜畑と温室ハウス、果樹園を周りながらの説明の他、収穫最盛期のハスカップを試食させて頂き、最後はハスカップのフレッシュジュースを部員全員で飲み、すっきりと甘いハスカップジュースに部員は『美味しい！』と喜んでいました。

旬のハスカップを試食

午後はトレーニングセンターでスポーツ交流会を開催、『ミニバレー』と『だるまさんが転んだ』を行いました。支部に関係なく、くじ引きで４チームを決め、ミニバレーでは白熱しながらも楽しんでいました。だるまさんが転んだでは「大人になってからでも楽しめる」と大盛り上がりで交流を深めることができました。

トレセンで体を動かしながら交流

くるるの杜で対面販売

今年も清里切麦と長いもを対面販売

７月21日と22日の２日間にわたり、ホクレンくるるの杜にて清里切麦と長いもの対面試食販売を行って参りました。

清里切麦は生うどん・生ひやむぎ・ざるラーメン・カレーうどんと新商品の清里やきそばバーベキュー味を販売し、ひやむぎ・ざるラーメン・やきそばの試食を実施しました。長いもも屋外での対面販売と試食を実施、途中日本ハムファイターズのマスコットキャラクター〝ＢＢ〟もブースに立ち寄り、１本売りで約４３０本（10kg箱で29ケース分）を販売致しました。

今年は１日目の客入りが振るわず、ゆっくりとした売れ行きでしたが、試食をして頂くと、切麦は「コシがしっかりしている」「のどごしがいいね」といった声があり、長いもは「色が良い」「甘い」と言って購入される方が多くいらっしゃいました。

暑い中での屋外販売

新発売のやきそばは、子どもたちに好評で、「ちょっとピリッとしてるけどおいしい」「もっと食べたい！」と素直な感想を聞くことが出来ました。また、「今晩のバーベキューで使います」と言って購入してくださった方もいらっしゃいました。

今回の対面販売では、お客様から「いつもうどんとひやむぎ買ってますよ」「添加物が入っていないのが安心です」「定期的に親戚に送っています」といった嬉しいお声がけを直に頂くことができました。今後もＰＲイベント等への参加や商品販売を通じて、北海道清里町とＪＡ清里町の知名度向上にも繋げたいところであります。

ひやむぎの試食が好評でした

BBも来場！

ふるさと産業まつりに参加

第 39 回ふるさと産業まつりが 9 月 2 日
清里町モトエカ広場にて開催されました。

梨と牛乳無料配布には開始前から長蛇の列が…

ＪＡ佐野の『梨』は 30 分ぜずに完売！

前夜祭は『じゃがいも踊り』を踊りながら町を練り歩きました。

長芋生産組合では長芋を試食･販売。たくさんの方が試食に訪れました。

酪農組合の牛乳無料配布に大人も子供も殺到。

女性部の「でんぷんだんご」は今年も人気。清里の“まつり”といえばやっぱりでんぷんだんご。

青年部のブースでは農畜産物販売･コンバイン展示･風船配布が行なわれ、コンバインに試乗した子どもたちは大変喜んでおりました。

和牛生産改良組合の絶品ＢＢＱ♪

給油所店頭キャンペーン

続々と来所

日頃のご愛顧に感謝を込めて

清里給油所と札弦給油所にて、7月13日の一日限定『夏の謝恩キャンペーン』が実施されました。ご愛顧いただいている皆様への感謝と店頭業務活性化をねらい、ガソリン・軽油を店頭表示価格から5円/ℓ引きで提供させて頂きました。悪天候の中ではありましたが、多くの方にご来店頂き、本キャンペーンでガソリン・軽油合わせて15、200ℓの実績（清里給油所においては普段の約3倍）を得ることができました。今後も、お客様に喜んで頂けるサービスを心がけて参りますので、変わらぬご愛顧の程よろしくお願い致します。

「清里やきそば」新登場

2つの味で気分に合わせた〝やきそば〟を楽しみませんか？

清里切麦シリーズに新たに「清里やきそば」として2商品を発売致しました！7月21日より発売の「清里やきそばバーベキュー味」は大人子ども問わず楽しめる王道の味付けです。8月15日発売の「清里焼きそばガーリックバター味」は、こってりとしたバターと香ばしいガーリックの風味がやみつきになる一品となっています。

両商品共にエーコープきよさと店・パパスランドさっつる・ホクレンくるるの杜にて販売しております。また、本商品で使われているＪＡオリジナルソースは味がしっかりとしていますので、具材をたっぷりと入れてお楽しみいただけます。ぜひご賞味ください。

第29回ＪＡ北海道大会組織討議案（意見集約案）の概要について

はじめに

●ＪＡ北海道大会は、3か年毎に開催されており、本年11月13日に第29回ＪＡ北海道大会を開催予定です。この大会で決定した方向性が、各連合会や今後の皆さまのＪＡにおいて各種計画に反映され、皆さまの日常の営農・生活をより良くすることに繋がります。
●現在、大会議案作成に向けて意見集約中であり、それらの概要についてお伝え致しますので、組合員の皆さまの積極的なご意見をお願い申し上げます。

背景

構造的問題

- 農家戸数減少や高齢化、労働力不足
- 組合員構成や時代背景の変化などによる組合員の協同意識の低下

外部環境

- 准組合員の事業利用規制に係る政府の調査期限が2021年3月
- 信用事業を含めた今後のＪＡ事業運営のあり方に係る検討期限が2019年4月
- 政府における農協改革集中推進期間が2019年5月まで

主題

北海道550万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある農村』の実現

ＪＡグループ北海道が取り組むこと

協同の力で農業所得の増大と多様な担い手の育成を実現

基本目標1
農業所得の増大に向けた取り組みの加速

【重点取組事項】

①収益向上に向けた取り組み
⇒マーケットインのさらなる追求に向けた生産・販売体制の確立、組合員の多様なニーズに対応した販売手法の確立、北海道ブランドの価値向上と新たな販売への挑戦

②基本技術の励行と新技術の導入によるトータルコスト低減の実践
⇒基本技術の励行と新技術の導入、サポート体制の構築、コスト低減に向けた取り組みの徹底

③ＪＡグループ北海道　食の安全・安心宣言の実践
⇒安全・安心な農畜産物の安定供給責任の履行、農業生産工程管理（ＧＡＰ）の取り組み推進、消費者に支持される生産への取り組み

基本目標2
担い手を育み支える地域活動の実践

【重点取組事項】

①担い手の確保・育成に向けた取り組みの加速
⇒経営継承に向けた取り組みの継続・強化、新規参入者の確保に向けた取り組みの継続・強化

②持続可能な農業生産に向けた労働力（人材）確保の実践
⇒地域での連携・協同した労働力（人材）確保の実践、地域での連携・協同した新技術・スマート農業の導入

次世代につなげる協同組合の価値と実践

基本目標1
時代に即した協同組合の価値創造

【重点取組事項】

①協同組合理念の理解浸透と人・組織づくりの実践
⇒協同組合運営への参画意識を醸成する仕組みの導入、協同組合理念への共感を促進する学習と実践活動強化、協同組合理念に根差したプロ人材の育成

②協同組合理念に基づく事業運営
⇒生涯満足を志向した事業運営の取り組み、協同組合の商品・サービスの総合的な良さの見える化、地域の多様な組織との連携強化による協同組合の存在価値の確立、組合員としての誇りを実感できる事業運営、ＪＡグループ北海道が考える『新たな協同組合』の価値と事業運営。（＊新たな協同組合の姿は今後の継続協議とする。）

③地域の課題解決に向けた協同組合間の連携強化
⇒北海道段階、地域段階における協同組合間連携の推進、ＪＡ間連携の推進

基本目標2
食と農でつながるサポータ550万人づくりの拡充

【重点取組事項】

①協同活動を核とした准組合員との関係づくり
⇒准組合員の属性と利用実態の把握と正組合員理解の浸透、准組合員との対話により意向を取り込むモニター会議の開催、正・准組合員の交流イベントの企画・開催、准組合員に対する協同活動・教育文化活動への参加呼びかけ

②関係・交流するサポーターづくりへの展開
⇒サポーターの価値観の再確認・発信と各世代に対応した活動の実践、地域づくりと相互関連した関係・交流するサポーターづくりの積極的展開、ＪＡ間で連携したサポーターづくりの展開

理事会の経過をお知らせ致します

第9回 8月24日

付議事項

議案第1号 平成30年産でん粉原料用馬鈴しょ加工取扱要領および共計でん粉融資単価の設定について

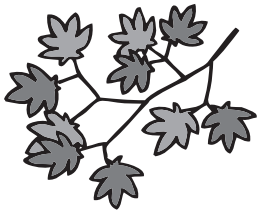
議案第2号 平成30年産てん菜立会人の選任について

議案第3号 夏季懇談会の意見集約について

議案第4号 全国監査機構監査による監査結果と回答について

報告事項

1. 平成30年度清里町農業振興資金貸付申請について（第2回）
2. 平成30年産種子馬鈴薯生産計画について
3. 平成29年産玉葱の本精算について
4. 平成29年産原料てん菜委託加工販売代金の精算について
5. 平成30年産きたほなみ採種について
6. 平成30年度でん粉工場安全操業祈願祭の開催について
7. 平成30年度ジャガイモシストセンチュウ植物検診の結果について
8. 麦作センター操業の中間報告について
9. 経営定期点検（7月期）の実施結果について
10. 各連合会決算状況について
11. 各連合会の配当金の内容について
12. 反社会的勢力認定結果について
13. 平成30年度JA共済コンプライアンス点検結果について
14. 内部監査の実施結果について
15. 第39回ふるさと産業祭り前夜祭「清里じゃがいも踊り」の参加について



★新規採用職員をご紹介します

○氏　名　清野（せいの）　寿彦（としひこ）
○生年月日　昭和52年3月21日
○出 身 地　清里町
○所属部署　でん粉製造部製造課
○趣味・特技　秋味釣り
○抱　負
一日も早く職場に慣れることが出来る様、頑張ります。

組合員状況

〈平成30年9月1日現在〉

■組合員数　〈前回報告より〉

正組合員	（個人）	223名	（変動なし）
〃	（法人）	12法人	（変動なし）
准組合員	（個人）	1,315名	（2名増）
〃	（法人）	0法人	（変動なし）
〃	（団体）	20団体	（変動なし）
	（合計）	1,570	

JAやJA関連団体へ100%就職（平成29年度実績）
平成31年度 第2回学生募集
大学・短大・専門学校 高校生大歓迎
●定員60名 ●男女共学 ●1カ年、全寮制 ●満24歳未満（平成30年4月1日現在）
●大学卒及び見込、短大・専門学校卒及び見込、高校卒及び見込
●試験日：12月13日・14日 ●願書受付：10月1日～11月19日消印有効 ●学校見学もできます
お問い合わせ 資料請求
JAグループ職員養成校
JAカレッジ
一般財団法人 北海道農業協同組合学校
〒069-0834 江別市文京台東町43-1
0120-918-417 JAカレッジ 検索

JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。
JA北海道大会決議事項の実践やその時々のトピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。
各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

JA北海道中央会

11月開催の第29回JA北海道大会に向けて組合員の声を反映させるため、9月末を期限とする組織討議を実施します。
原案には、前回大会で掲げたJAグループの将来ビジョン「北海道550万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある農村』の実現」に向けて、農業所得増大やサポーター550万人づくりの継続実施などを盛り込むほか、重要性を増す「協同組合の価値と実践」を新たに加えております。
また、各JAにおける組織討議に加えて、組合員の皆さんから直接ご意見を提出いただけるよう、意見提出様式を公開しておりますので、ご提案を賜りますようお願い申し上げます。

JA北海道信連

8月に、JAとうや湖等の協力を頂き、小学生の親子を対象とした『旬食カレッジin洞爺湖』を開催しました。じゃがいもの収穫体験、地元産じゃがいもやミニトマト等を使った料理教室、JAによる講演等を実施し、道産野菜のおいしさや栽培のこだわりなど、食や農の大切さを伝えることができました。
参加者には、「食に対する関心が高まり勉強になった」「また参加したい」など好評でした。

ホクレン

北海道産牛肉を炭火焼きで楽しんでもらう「第2回北海道牛肉まつりinさっぽろ」が7月29日から8月1日の4日間、札幌パークホテル駐車場特設会場で開かれました。このうち2日目の30日には「北海道産牛肉応援PR大使」でグルメタレントのアンジェラ佐藤さんが登場。
北海道庁とホクレンの若手職員計5人を相手に「大食い競争」に挑戦し、会場から大きな歓声が上がりました。

JA共済連北海道

8月3日に札幌・共済ホールにて「全道LA・スマサポ大会」が開催され、平成29年度普及活動で優秀な成績を収められたLA22名と、スマイルサポーター15名が登壇し表彰されました。
JA共済では、これからも「3Q訪問活動」と「あんしんチェック（保障点検活動）」の実践を通じて組合員・地域利用者の信頼と期待に応え、「安心」と「満足」の提供に努めてまいります。

JA北海道厚生連

組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。
年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。
ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非ご一読ください。

オホーツク農協
青年部協議会
主催

オホーツク農業を食べよう！学ぼう！体験しよう！

オホーツク農業祭2018

2018 10/13(土)

AM10:00▶PM2:00

サンドーム北見

北見市東三輪5丁目1-10TEL(0157)23-9090

詰め放題！農産物

食育○×クイズ！

北見藤女子高による
オホーツク小のパン
限定発売！
買えるのはここだけ！

農業がわかる スタンプラリー
さらに
バター作り体験
ハロウィン かぼちゃ作り体験&販売
お子様限定！
数量限定！早い者勝ち！！
楽しく参加で景品ゲット!!
他にも親子で楽しめるイベントがたくさんあるよ！

毎年大好評
オホーツク産
地域特産物が当たる
大抽選会!!

★全国コロッケフェスティバル優勝！
タマコロの限定発売
★障がい者ブース！
★牧草ロールの展示！

農家のにいちゃんが乗っている
トラクター試乗体験

農家のにいちゃんが伝えたい
おもしろい農業の話！

農家のにいちゃんが作った
オホーツク産
農畜産物の販売！

ステージイベント タイムスケジュール

10:00	開会セレモニー
10:15	各ブース・ゆるキャラ紹介
11:00	農産物詰め放題
12:00	藤女子高校ダンス発表
12:30	食育○×クイズ大会
13:15	大抽選会
14:00	閉会セレモニー

オホーツク産小麦を使用した
250食限定！
うどん販売！

地元野菜をふんだんに使った
カレーライス販売！

主催・運営 オホーツク農協青年部協議会
後援 オホーツク農協組合長会・オホーツクJA女性部協議会
問合せ先 オホーツク農協青年部協議会（JA北海道中央会北見支所内）
住所：北見市とん田東町617番地　電話：0157-23-6151

発行／清里町農業協同組合
北海道斜里郡清里町羽衣町2番地
TEL 0152-25-2211 〒099-4405

編集／組合だより編集委員会
印刷／星印刷工業株式会社